

体育振興・健康づくり対策特別委員会
平成25年(2013年)12月18(水)
健康福祉部健康長寿課

滋賀の健康づくり

1に運動・2に食事・3に禁煙 健康いきいき！



しがのハグ



しがのクミ

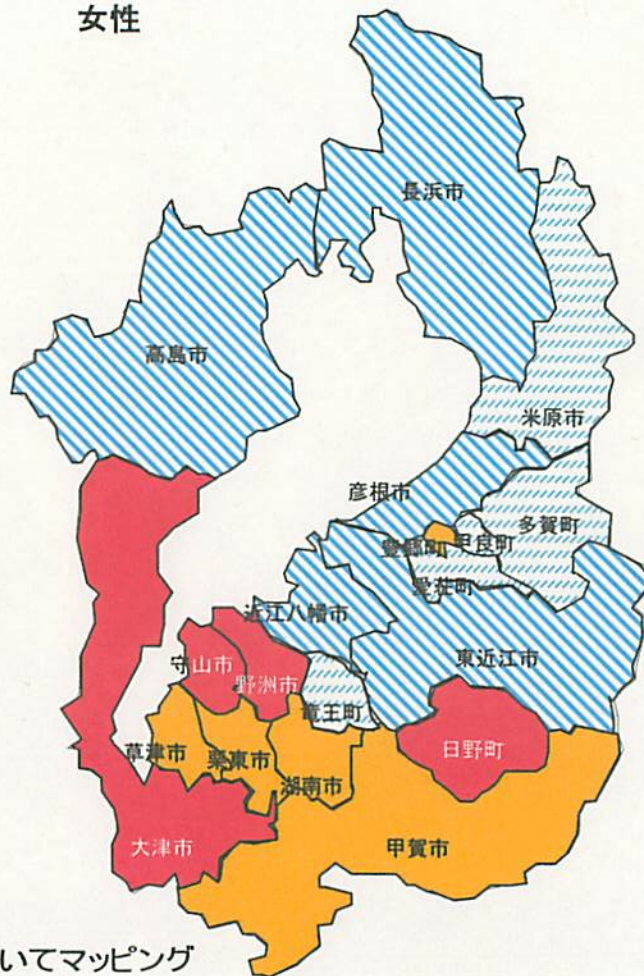
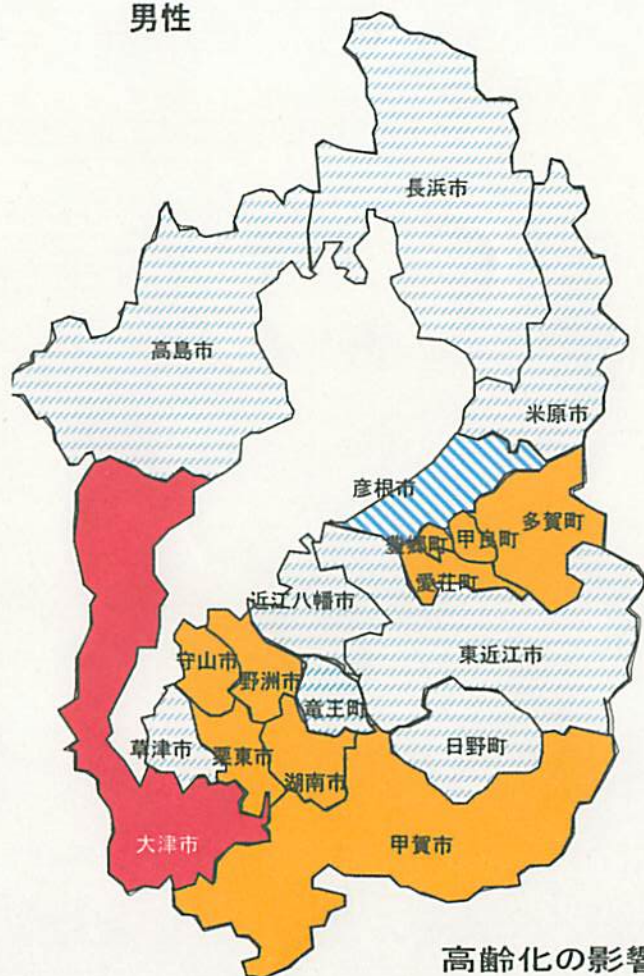
メタボ該当者は県南部に多い





特定健診における
メタボリックシンドローム判定基準
腹囲+血糖値高値・脂質異常・血圧高値
喫煙歴

メタボリックシンドローム該当者

男性

女性



-  県全体に比べて、有意に少ない
-  有意ではないが、県全体に比べて少ない
-  有意ではないが、県全体に比べて多い
-  県全体に比べて、有意に多い

* 有意に多い、少ないとは
統計的処理を行ったうえで多い、
少ないと判断された場合をいう

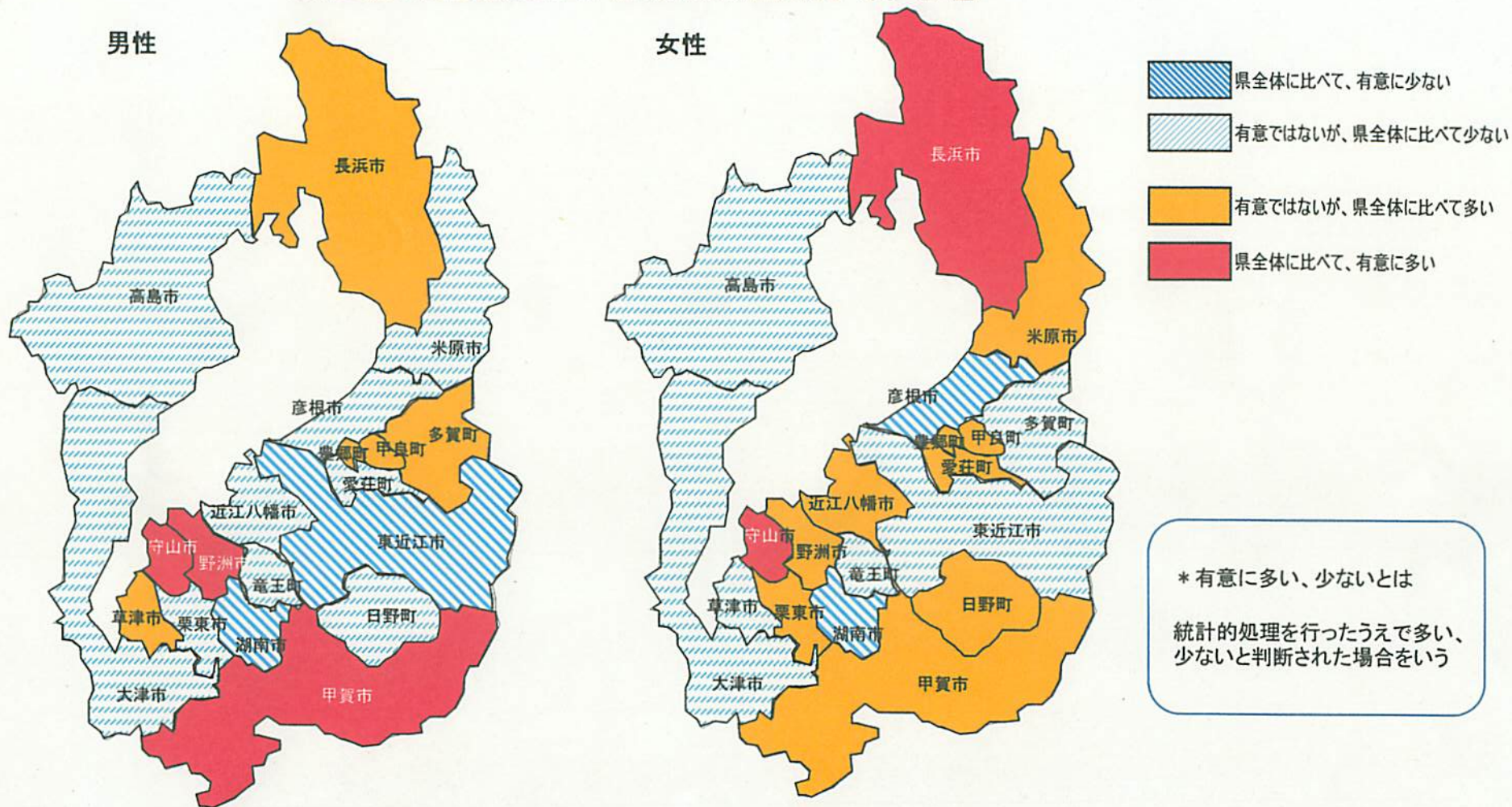
高齢化の影響を除いてマッピング

出展：特定健診データ(市町国保、共済保険、健保組合、協会けんぽなど全保険者)

高血圧の治療にかかる薬剤を服用している者

男性

女性



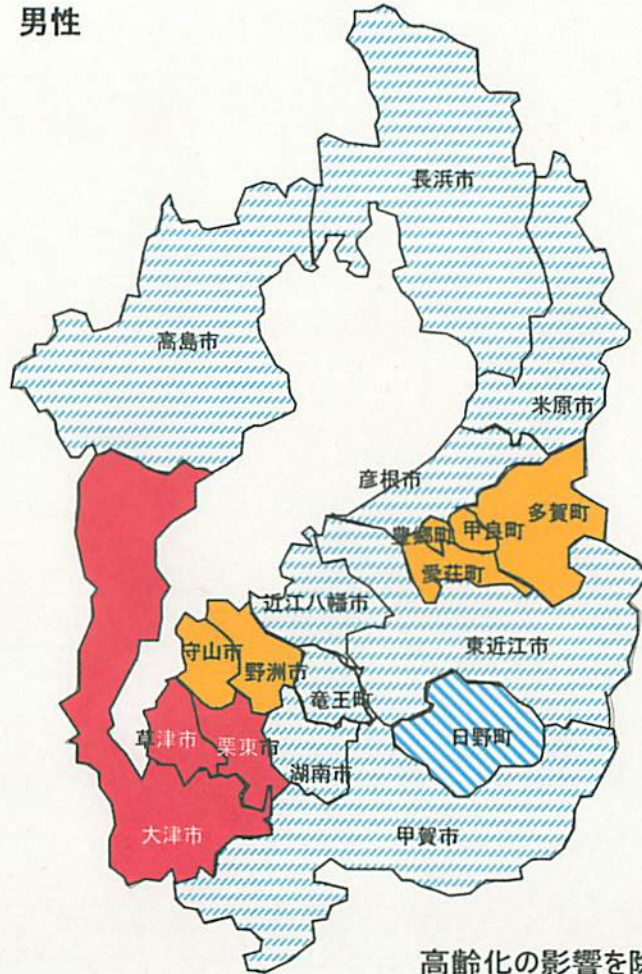
* 有意に多い、少ないとは
統計的処理を行ったうえで多い、少ないと判断された場合をいう

高齢化の影響を除いてマッピング

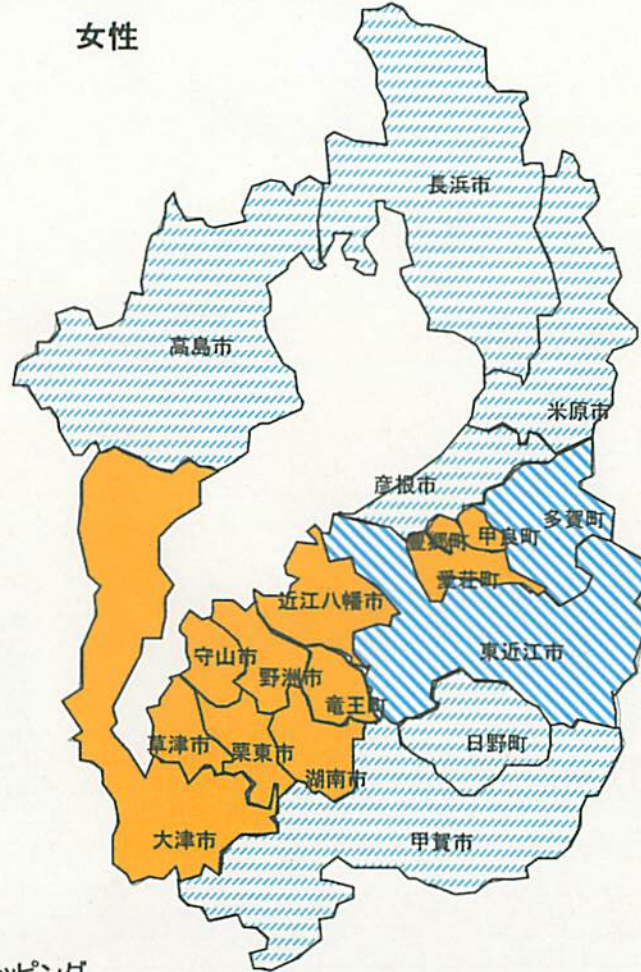
出展：特定健診データ(市町国保、共済保険、健保組合、協会けんぽなど全保険者)





糖尿病の治療にかかる薬剤を服用している者

男性



女性



-  県全体に比べて、有意に少ない
-  有意ではないが、県全体に比べて少ない
-  有意ではないが、県全体に比べて多い
-  県全体に比べて、有意に多い

* 有意に多い、少ないとは
統計的処理を行ったうえで多い、少ないと判断された場合をいう

高齢化の影響を除いてマッピング

出展：特定健診データ(市町国保、共済保険、健保組合、協会けんぽなど全保険者)

メタボ予防のために

「健康なひとづくり」

- * 若いころから、よりよい生活習慣の定着
- * 壮年期からは、特定健診・特定保健指導の受診
- * 加えて生活習慣病の重症化予防が重要

「健康なまちづくり」

- * 健康に無関心な方も健康づくりに関心をもち、
取り組めるような地域づくりが必要

県では「健康寿命の延伸」をめざし、事業を実施している。

今後の方向性

I 健康情報の「見える化」

① 県民へのわかりやすい**情報提供**

② 市町支援

市町の特성에応じた施策展開**(予防対策の重視)**できるように支援する

II 運動について

① 女性をターゲット

② ロコモティブシンドロームの周知

③ 環境整備に重点をおいた支援

(県内市町実施例: グランドゴルフ場整備、ウォーキングコースの整備、健康運動マップ作成・周知等)

県民の健康課題

- 女性の健康寿命72.37歳(全国47位)
- メタボリックシンドローム該当者および予備軍25.4%
- 40歳代男性の肥満者の割合33.7%

県民がいきいきと健康に暮らす社会の実現

「健康寿命の延伸」

健康寿命と平均寿命の差の縮小
男性 1.5年 女性 3.19年

4つの重点テーマ

1. **運動**
プラス10分体を動かしましょう
2. **食生活**
プラスひと皿野菜を食べましょう
3. **禁煙**
禁煙支援・受動喫煙防止
4. **介護予防**

無関心層の健康づくり

「治療から予防への転換」
「健康格差の縮小」

市町

健康なひとづくり

健康なまちづくり

県・保健所

～健康寿命をのばそう！プロジェクト～

市町

健康増進計画支援
健康づくり対策支援
介護予防事業支援

支援

(1)健康情報見える化事業

①健康情報「見」隊 (健康情報の分析・提供)

(2)健康づくり発掘事業

①健康づくり探検隊

情報提供

活用

NPO 社会福祉協議会
ウォーキング協会
ボランティア団体
介護予防実施団体 etc

クチコミカ

コンビニ・量販店
フィットネスクラブ
企業
商工会議所・商工会
etc

地域連携力

健康推進員

民間活力

(2)②健康づくり
「見せ」隊

県全体の
健康力アップ

(3)健康寿命をのばそう！プロジェクト表彰式

無関心層への
健康意識への働きかけ
健康づくりへの参加の機会の増加

県民への情報発信

〔インターネットテレビ(you tube)
いきいき健康ライフ〕